

# 岩手県感染症週報

平成14年第51週（12月16日～12月22日）

岩手県結核 感染症情報センター

## 第51週の概要

### 1 類感染症

- ・患者発生の報告はありませんでした。

### 3 類感染症

- ・患者発生の報告はありませんでした。

### 2 類感染症

- ・患者発生の報告はありませんでした。

### 4 類感染症（全数把握対象疾患）

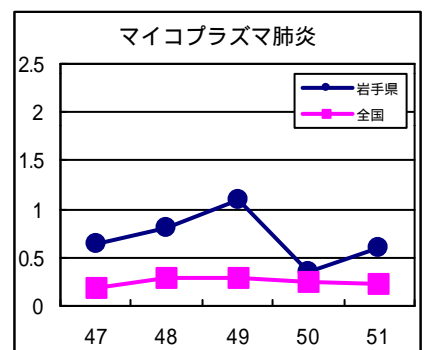
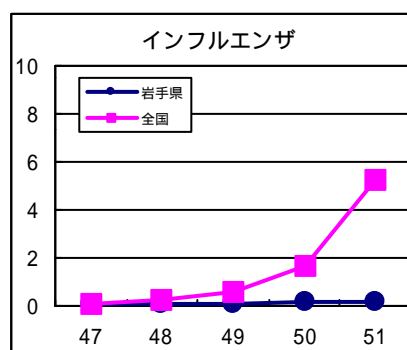
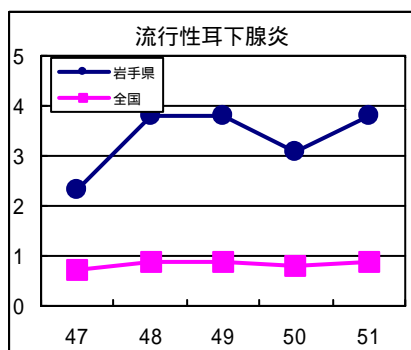
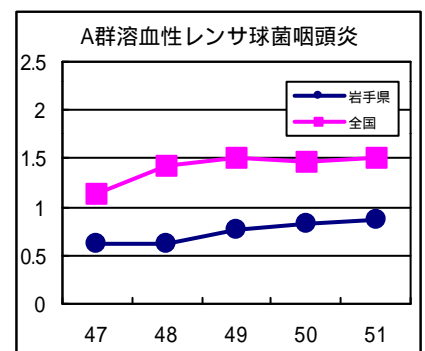
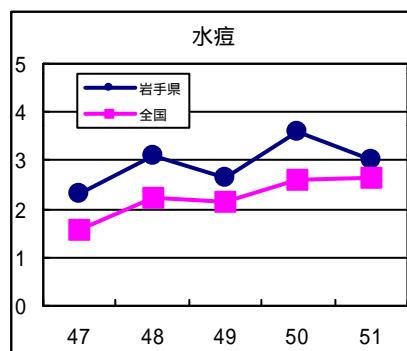
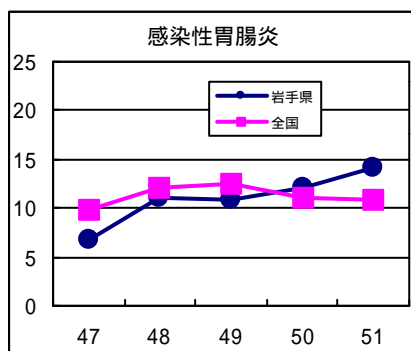
- ・患者発生の報告はありませんでした。

### 4 類感染症（定点把握対象疾患）

- ・感染性胃腸炎は各地で患者数が増加しています。これまで患者数の多かった花巻、北上地区では減少に転じていますが、そのほかの地区ではこれからさらに患者数は増えるものと予想されます。今冬、集団感染事例や散発例の患者からノーウォークウイルスが多く検出されています。感染の予防には、食品の十分な加熱、手洗い、患者の汚物処理時（ぞうきん、おむつ等の消毒）に注意が必要です。
- ・流行性耳下腺炎は依然各地で患者数が多い状態が続いています。特に、花巻、水沢、一関、釜石地区で患者数が多くなっています。
- ・水痘は二戸地区で先週に引き続き患者数が多く、定点当たり患者数が 11.0 となりました。花巻、一関、大船渡地区でも患者数が多くなっています。
- ・インフルエンザは全国的には流行が始まっていますが、本県はまだ小康状態にあります。

## 最近の注目疾患（定点あたり患者数の過去5週の動き）

（疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意）



定点把握対象疾患（過去5週の動き）

（定点あたり患者数）

疾病名	地域	週					流行傾向
		47	48	49	50	51	
インフルエンザ	岩手県	0.05	0.05	0.08	0.16	0.19	
	全国	0.07	0.21	0.6	1.65	5.22	
咽頭結膜熱	岩手県	0.05	0.05	0.05	0.03	0.05	
	全国	0.09	0.12	0.13	0.12	0.14	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	岩手県	0.63	0.61	0.76	0.82	0.87	
	全国	1.13	1.42	1.5	1.46	1.51	
感染性胃腸炎	岩手県	6.66	11.05	10.82	12.03	14.24	
	全国	9.81	12.16	12.42	11	10.94	
水痘	岩手県	2.32	3.11	2.63	3.61	3	
	全国	1.56	2.23	2.15	2.61	2.64	
手足口病	岩手県	0.34	0.34	0.11	0.05	0.11	
	全国	0.38	0.36	0.35	0.31	0.3	
伝染性紅斑	岩手県	0.37	0.5	0.45	0.42	0.39	
	全国	0.14	0.21	0.24	0.22	0.26	
突発性発疹	岩手県	0.32	0.76	0.32	0.32	0.55	
	全国	0.69	0.76	0.74	0.67	0.67	
百日咳	岩手県	0	0	0	0	0.03	
	全国	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	
風疹	岩手県	0.05	0	0	0	0	
	全国	0.01	0	0.01	0	0.01	
ヘルパンギーナ	岩手県	0.08	0.21	0.16	0.08	0.11	
	全国	0.06	0.07	0.05	0.05	0.06	
麻疹（成人麻疹を除く）	岩手県	0	0	0.05	0	0	
	全国	0.02	0.04	0.04	0.04	0.03	
流行性耳下腺炎	岩手県	2.32	3.79	3.79	3.08	3.82	
	全国	0.72	0.88	0.86	0.79	0.87	
急性出血性結膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	
	全国	0.03	0.05	0.05	0.03	0.03	
流行性角結膜炎	岩手県	0.67	1.25	0.5	1	1.25	
	全国	0.87	0.97	0.94	0.92	0.92	
急性脳炎（日本脳炎を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	
	全国	0	0	0	0	0	
細菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	
	全国	0.01	0.02	0.03	0.02	0.01	
無菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	
	全国	0.03	0.03	0.03	0.05	0.02	
マイコプラズマ肺炎	岩手県	0.65	0.8	1.1	0.35	0.6	
	全国	0.18	0.28	0.28	0.24	0.23	
クラミジア肺炎（オウム病を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	
	全国	0.01	0	0.01	0.01	0.01	
成人麻疹	岩手県	0	0	0	0	0	
	全国	0.02	0.01	0.01	0	0.01	

全数把握対象疾患（過去5週の動き）

（患者発生数）

分類	疾病名	（週） 岩手県						全国	
		47	48	49	50	51	累計	51	累計
一 類 感 染 症	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	ペスト	0	0	0	0	0	0	0	0
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0
二 類 感 染 症	コレラ	0	0	0	0	0	0	0	51
	細菌性赤痢	0	0	0	3	0	3	7	688
	腸チフス	0	0	0	0	0	1	0	62
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	1	33
	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0
三 類	腸管出血性大腸菌感染症	0	0	0	0	0	91	16	3121
四 類 感 染 症	アメーバ赤痢	0	0	0	0	0	2	4	439
	エキノコックス症	0	0	0	0	0	0	0	9
	黄熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	オウム病	0	0	0	0	0	0	0	55
	回歸熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	急性ウイルス性肝炎	0	0	0	0	0	10	6	906
	Q熱	0	0	0	0	0	0	0	46
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	1	108
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0	0	4	3	140
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	1	89
	後天性免疫不全症候群	0	0	0	0	0	3	13	881
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0	3
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	0	2	114
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	髄膜炎菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	8
	先天性風疹症候群	0	0	0	0	0	0	0	1
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	ツツガムシ病	0	1	0	0	0	10	9	315
	デング熱	0	0	0	0	0	0	0	50
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	36
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0	8
	乳児ボツリヌス症	0	0	0	0	0	0	0	0
	梅毒	0	1	0	0	0	5	6	555
	破傷風	0	0	0	0	0	0	2	104
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	42
	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	0	1
	発疹チフス	0	0	0	0	0	0	0	0
	マラリア	0	0	0	0	0	0	0	76
	ライム病	0	0	0	0	0	0	0	15
	レジオネラ症	0	0	0	0	0	0	0	164
	ウエストナイル熱	0	0	0	0	0	0	0	0

「ウエストナイル熱」が平成14年11月から新たに四類感染症に指定されました。

## 今注目の感染症

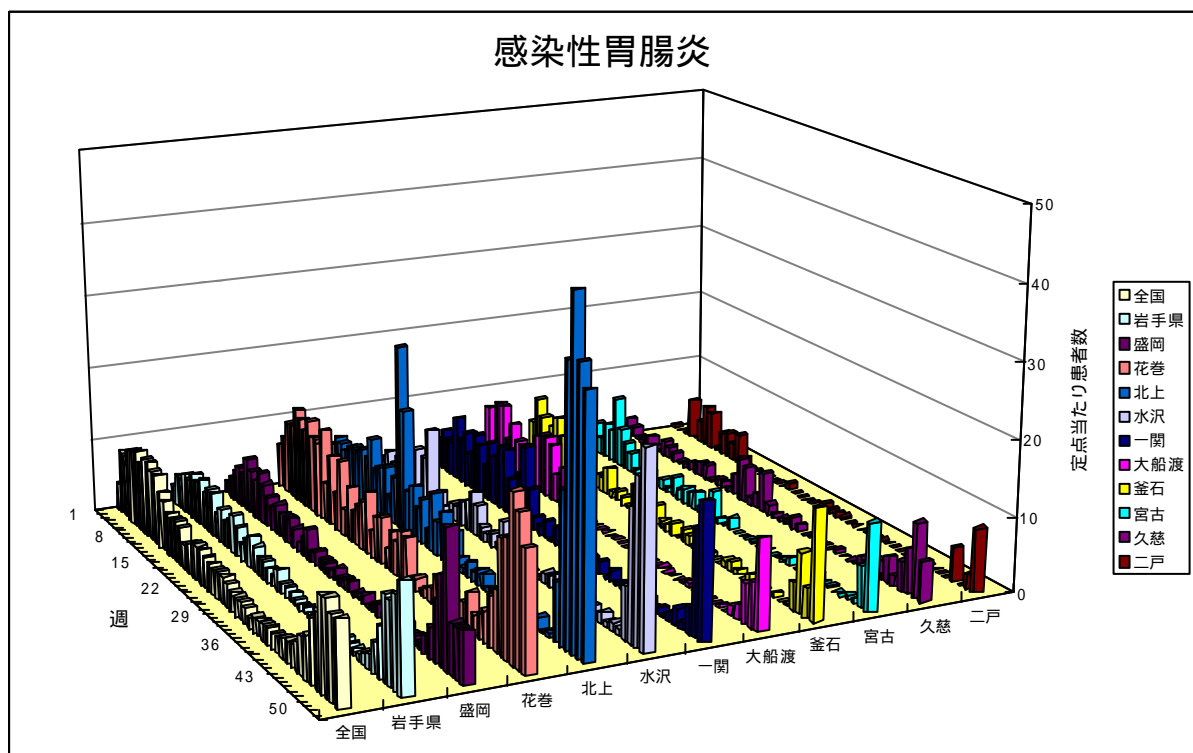
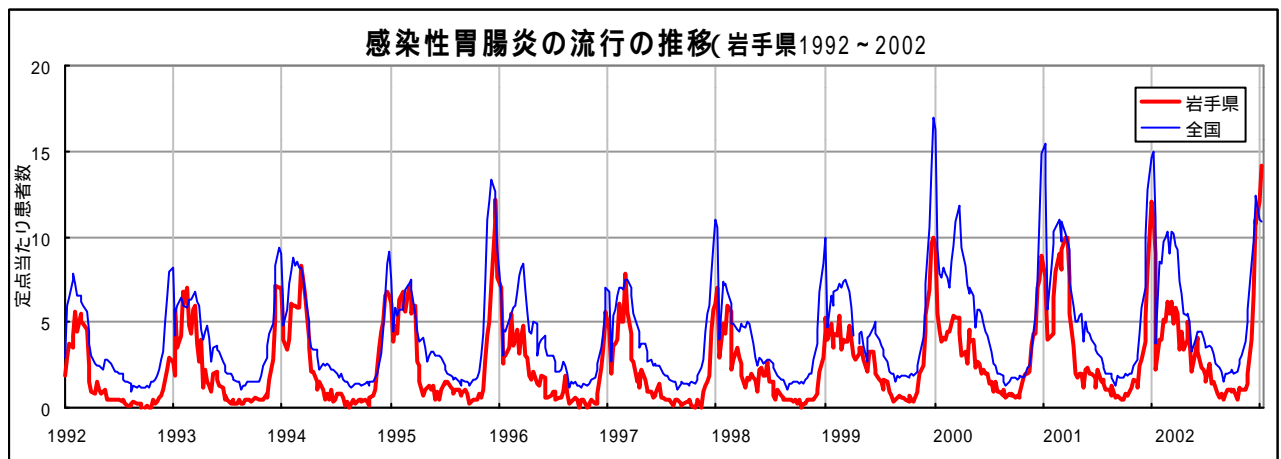
### 感染性胃腸炎

「感染性胃腸炎」は、単一の疾患を意味するものではなく、いろいろな病原体による胃腸炎を広く含む症候群です。病原体としては、カンピロバクターやサルモネラなどの細菌や、ロタウイルスやノロウイルスなどのウイルスが中心となります。現在、感染症発生動向調査では感染性胃腸炎が小児科定点把握疾患であることから、冬季におけるノロウイルスとロタウイルスの二つが重要な病原体となっています。

感染性胃腸炎の流行曲線は12月にみられる比較的シャープなピークと、1～3月にみられるなだらかなピークとからなりますが、前者の多くはノロウイルス、後者の多くはロタウイルスによるものと考えられています。

感染様式は感染者からの糞口感染や汚染された水・食品を媒介する感染などですが、ノロウイルスの場合には吐物や飛沫からの感染もあり得ます。

感染の予防には食中毒の一般的な予防法に準じて食品の加熱を徹底すること、流行期の手洗いの励行、患者との濃厚な接触を避けることが重要です。また、ノロウイルスによる場合には、排泄物や汚れ物の処理の際にも十分な注意が必要です。いずれの病原体においても、家庭内や集団内での二次感染の防止が大事です。



## 病原体検出情報

- ・ 12月に採取した感染性胃腸炎の患者の便からノーウォークウイルス（遺伝子型II）を15例検出しました。また、11月以降に発生した胃腸炎の集団感染事例から、同じくノーウォークウイルス（遺伝子型II）を23例検出しています。
- ・ 12月に採取した感染性胃腸炎の患者の便からロタウイルスC群を1例検出しました。
- ・ 12月に採取した溶レン菌咽頭炎の咽頭拭い液からA群溶血性レンサ球菌を3例検出しました。
- ・ 12月に採取したインフルエンザの患者の咽頭拭い液からA香港型インフルエンザウイルスを1例検出しました。

## 集団感染情報

### 食中毒事件の発生について

#### 1 事件の探知

12月20日（金）午後8時30分頃、大槌町内の医療機関から釜石保健所に「12月18日（水）にホテルで飲食したグループの数人が食中毒様症状を呈して受診した。」との通報があり探知した。

#### 2 調査結果

釜石保健所の調査の結果、患者の共通食品はこのホテルが提供した食事のみであり、また、患者の症状も共通していることから、本事件を当該施設を原因とする食中毒事件と断定した。

- |          |                      |
|----------|----------------------|
| （1）初発年月日 | 12月19日（木）午後2時        |
| （2）患者数   | 2グループ16名（内通院8名、入院1名） |
| （3）主症状   | 嘔吐、下痢                |
| （4）病院物質  | 調査中                  |
| （5）原因食品  | 12月18日の会席料理          |

## 医療機関からの情報

医療機関からの情報をお待ちしております。

臨床現場の生の声をぜひお聞かせ下さい。

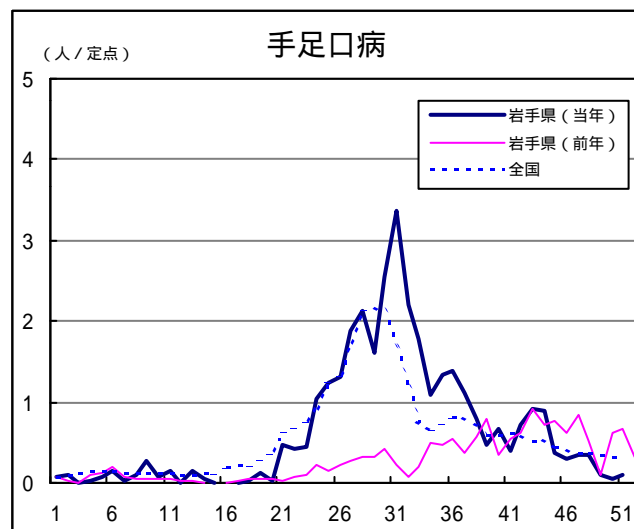
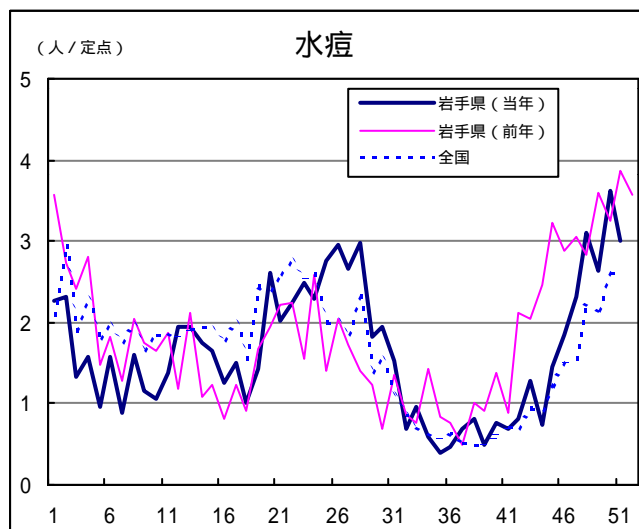
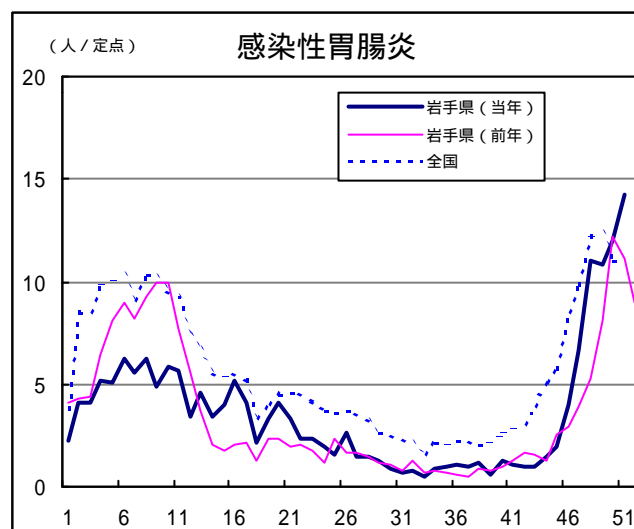
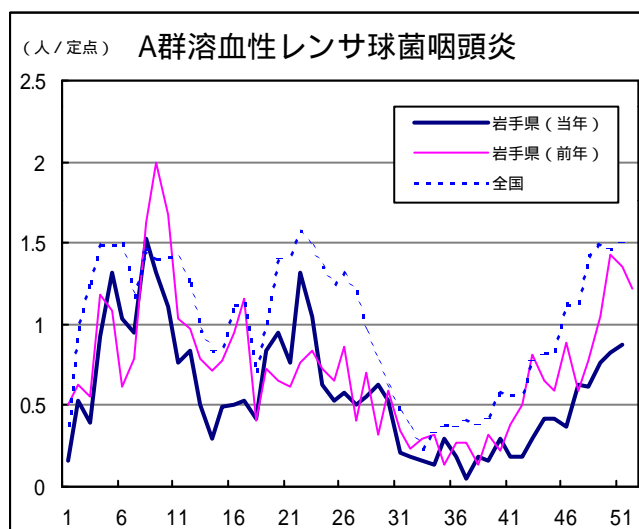
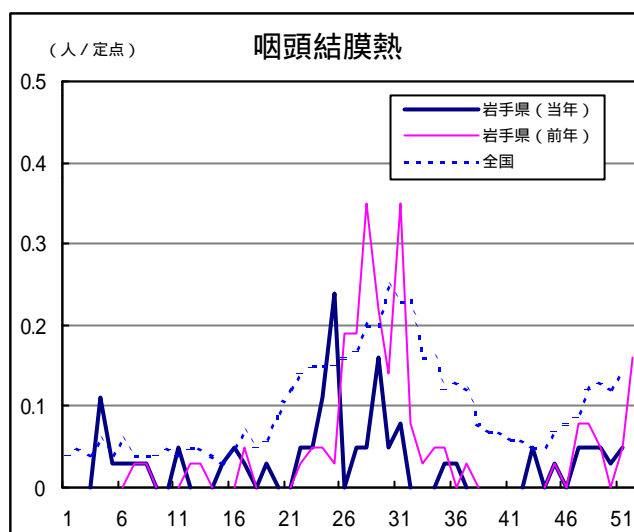
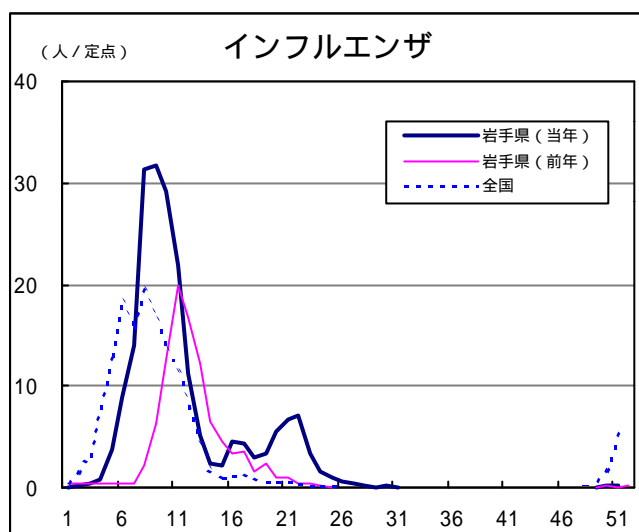
## Q & A

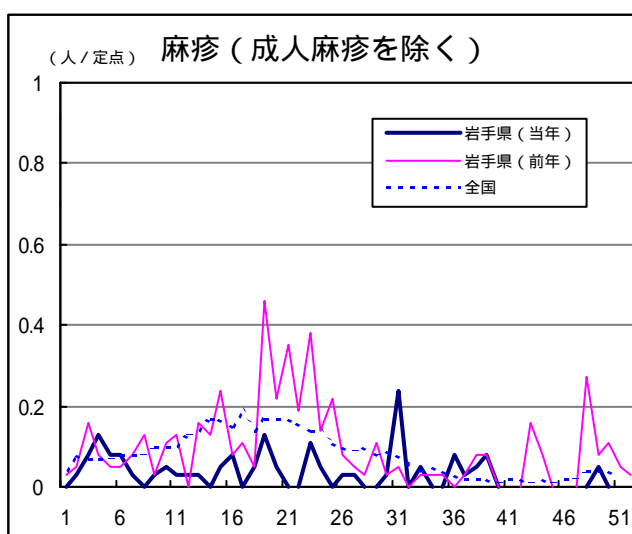
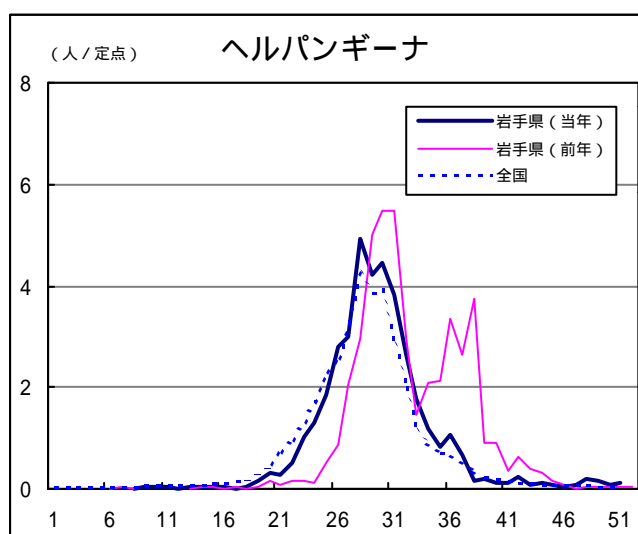
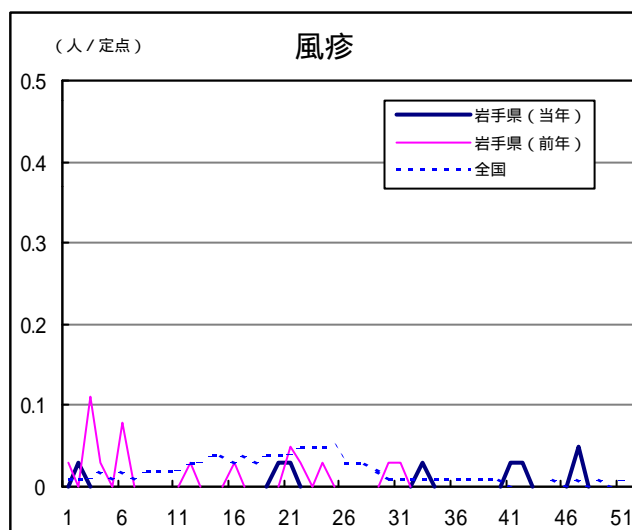
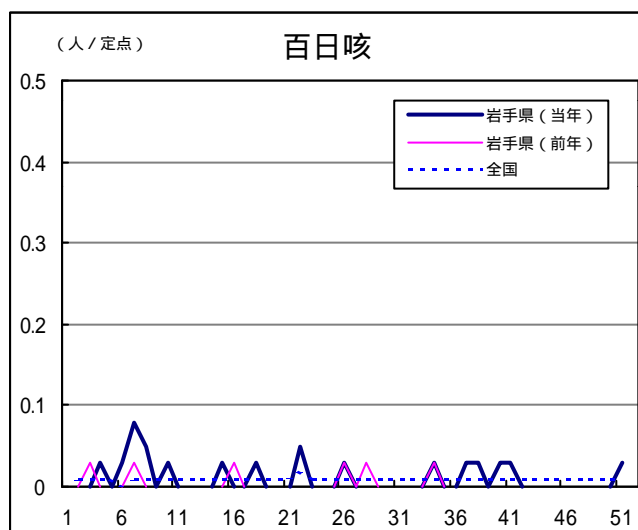
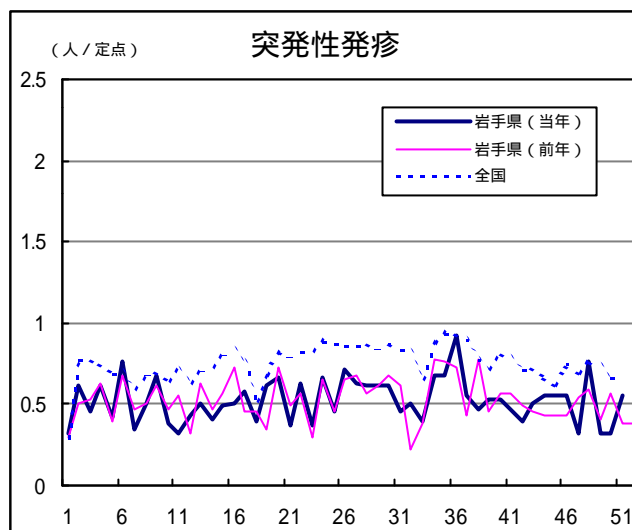
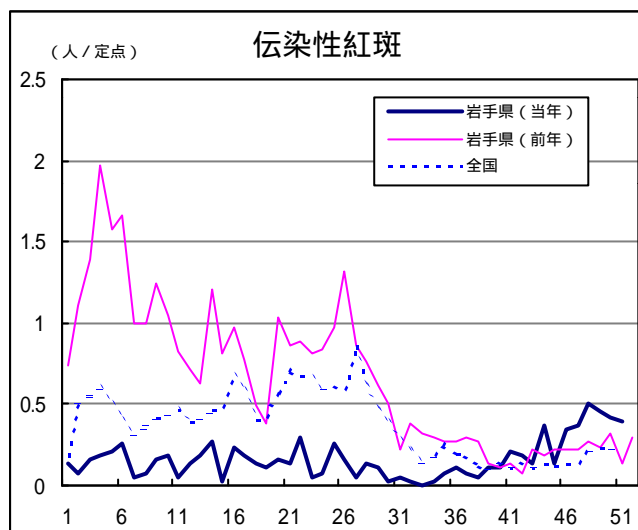
読者の皆様からのご質問をお受けしております。

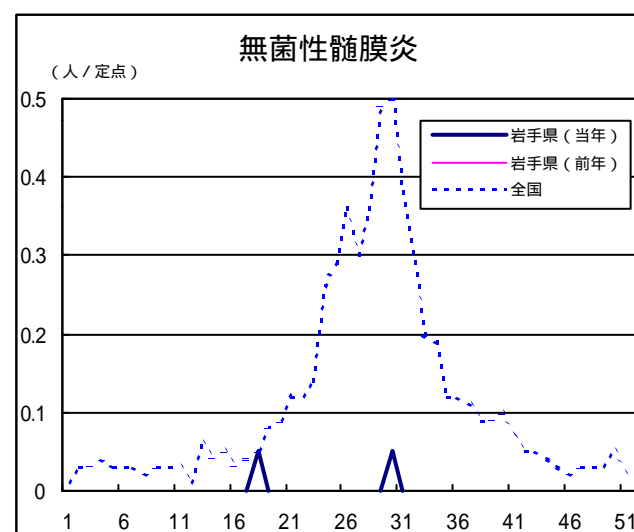
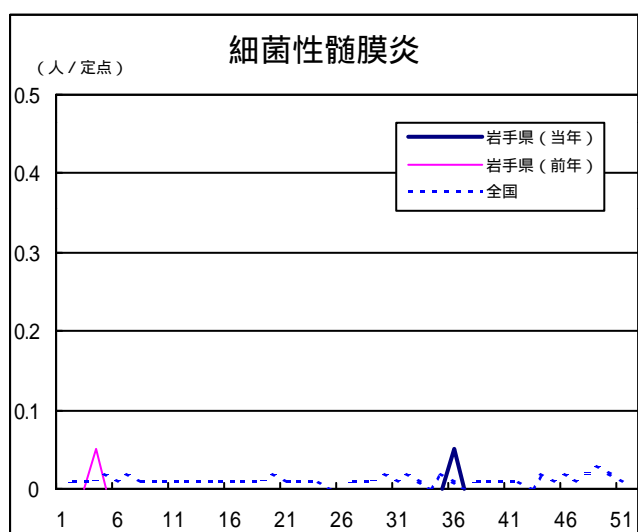
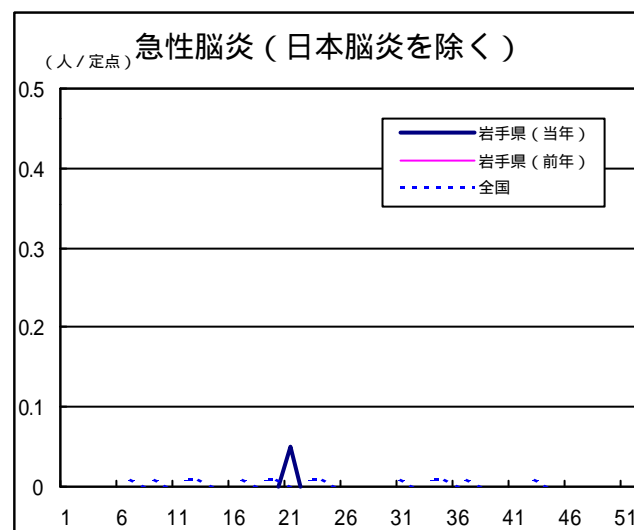
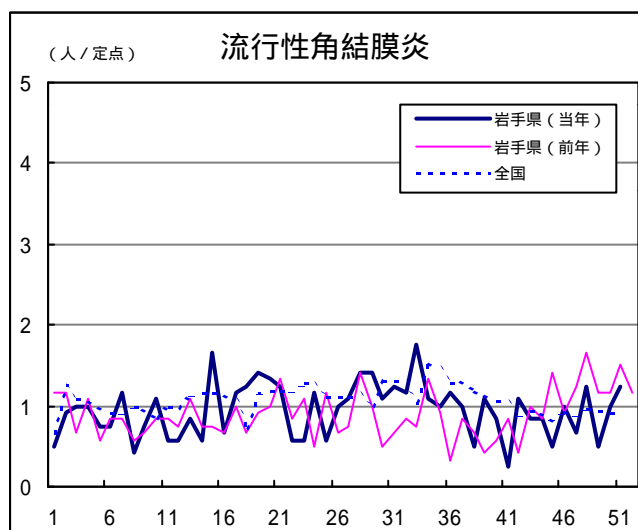
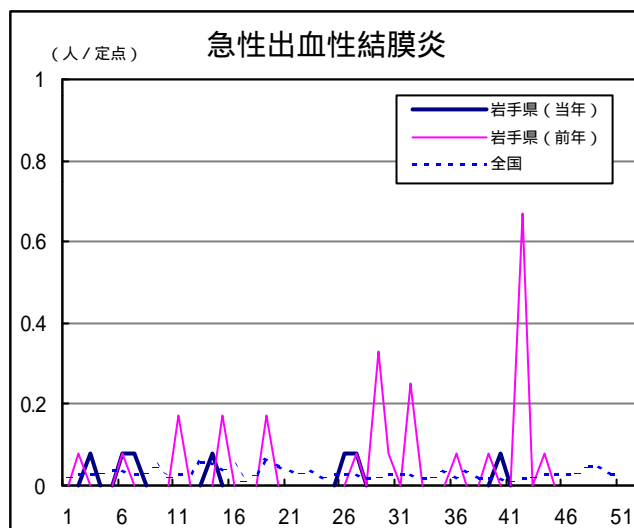
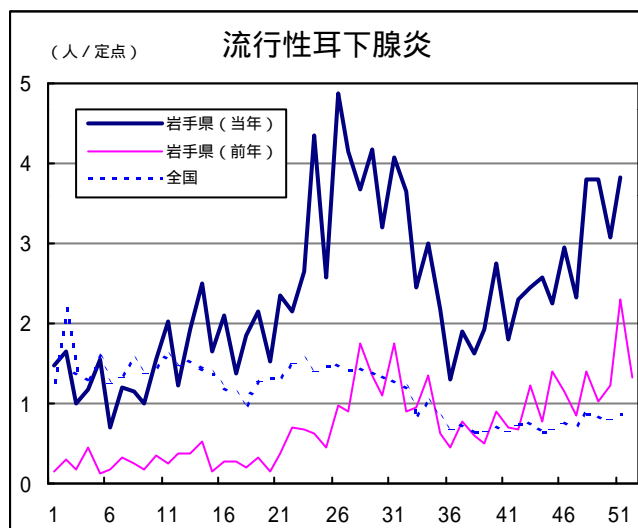
お寄せいただいたご質問につきましては、この欄でお答えします。

医療機関からの情報や読者の皆様からのご質問は下記の宛先までお寄せください。  
岩手県結核・感染症情報センター（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）  
〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1  
TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667  
E-mail: CC0019@pref.iwate.jp

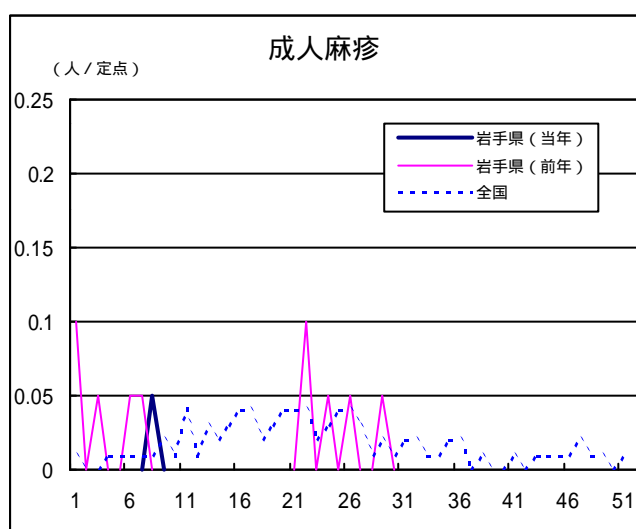
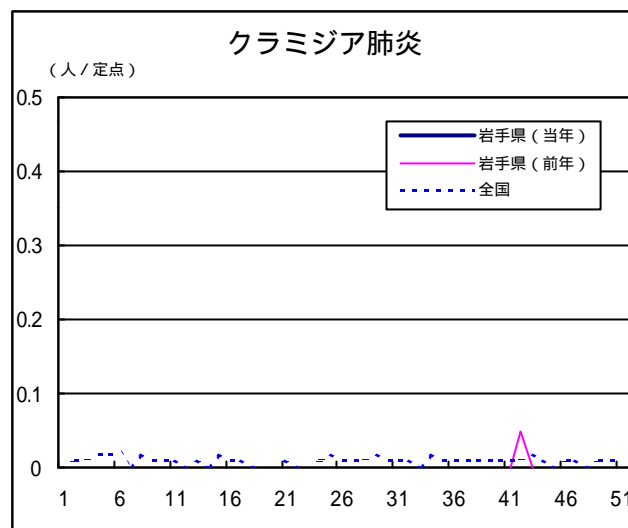
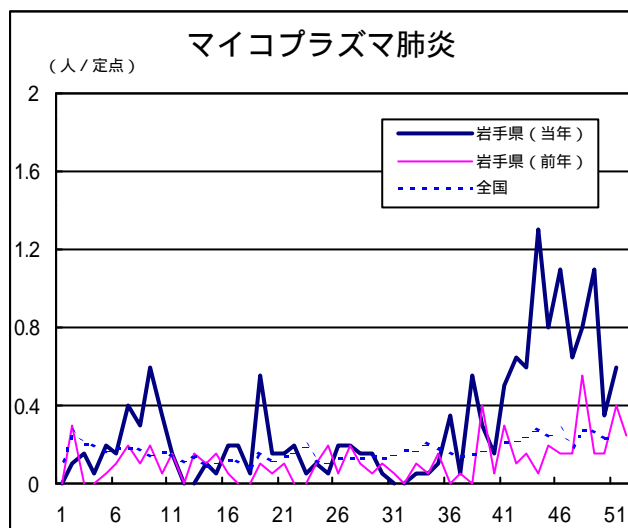
# 疾病別グラフ（定点あたり患者数の推移）











定点医療機関の数

地区	インフル エンザ	小児科定 点	眼科定点	基幹定点
岩手県	62	38	12	20
盛岡	17	11	3	5
花巻	5	3	1	2
北上	5	3	1	2
水沢	7	4	1	2
一関	7	4	1	2
大船渡	5	3	1	1
釜石	5	3	1	2
宮古	5	3	1	1
久慈	3	2	1	1
二戸	3	2	1	2

岩手の感染症情報を毎週メールでお届けする  
**「岩手県感染症情報ウィークリーマガジン」**の配信を始めました。  
 配信の登録は以下のURLからお願いします。

<http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/mailmagazine.html>

岩手県感染症週報 平成14年第51週 平成14年12月27日発行

監修：岩手県結核・感染症発生動向調査委員会

発行：岩手県環境保健研究センター

岩手県保健福祉部保健衛生課

事務局：岩手県結核・感染症情報センター

（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）

〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1

TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667

E-mail：CC0019@pref.iwate.jp

URL：http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/

<岩手県結核・感染症情報センター>

http://www.pref.iwate.jp/~hp0360/

<岩手県保健福祉部保健衛生課>